

一宮市尾西歴史民俗資料館 冬季特別展

市川房枝

～ 権利の上に眠るなく～

入館
無料

2025

12.13 Sat. 土

2026

— 2.15 Sun. 日

女性参政権実現80年



熊土の東京を奔走する市川房枝(昭和20年8月) 市川房枝記念会女性と政治センター提供

■開館時間／ 9:00～17:00(入館は16:30まで)

■休館日／毎週月曜日(1月12日は除く)・年末年始(12月28日～1月5日)
1月13日(火)・2月12日(木)

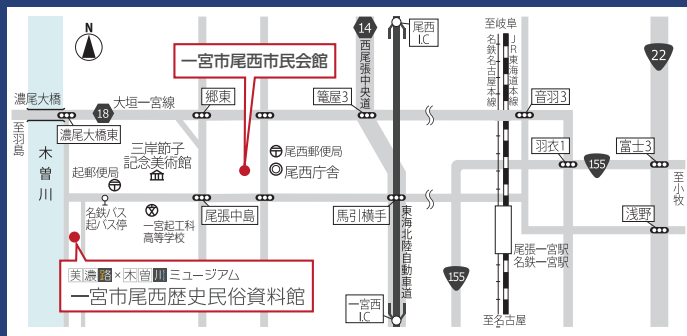
美濃路×木曾川ミュージアム

一宮市尾西歴史民俗資料館

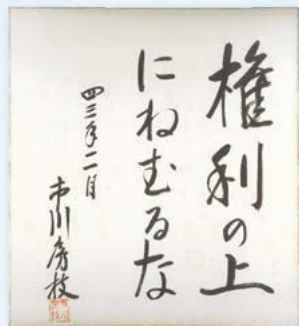
〒494-0006 愛知県一宮市起字下町211 TEL 0586-62-9711

【アクセス】

JR東海道本線「尾張一宮」または名鉄名古屋本線「名鉄一宮」下車、一宮駅西口バスターミナル2番のりばから名鉄バス「起(おこし)」行きで約20分、「起」下車徒歩5分



市川房枝 ～権利の上に眠るな～



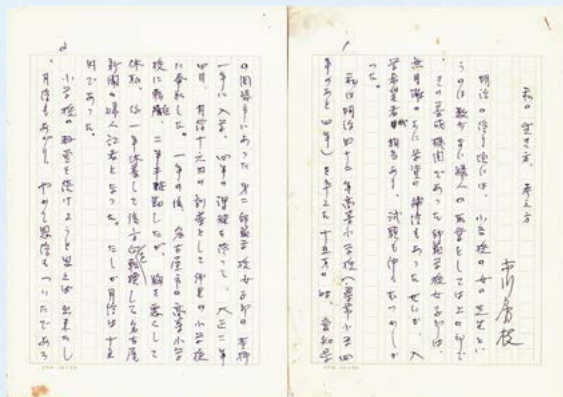
今では当たり前となっている男女平等の選挙(普通選挙)が実現したのは、日本が太平洋戦争に敗れて間もない昭和20年(1945)12月17日です。この日、衆議院議員選挙法が改正され、男性に限定されていた選挙権が女性にも拡大しました。

明治23年(1890)の衆議院の開設から、女性参政権の実現までは長い闘いがありました。「婦選なくして普選なし」を掲げ、女性参政権獲得運動のリーダーとなったのが市川房枝(1893～1981)です。愛知県中島郡の明地村(一宮市)に生まれた房枝は、教員・新聞記者を経て上京し、労働問題や女性参政権運動に携わるようになります。目的を実現した後も参議院議員を務め、女性の地位向上や平和運動に尽力しました。昭和55年(1980)には、日本政府に「女性差別撤廃条約」の署名を実現させ、男女雇用機会均等法の制定や家庭科の男女共修化につながりました。

女性参政権実現から80年を迎える今年、特別展「市川房枝～権利の上に眠るな～」を開催します。本展では、市川房枝が歩んだ激動の明治から昭和の時代を、房枝が執筆した原稿や出版物、愛用した品を通して紹介し、現代を生きる私たちに問いかけられているものを考えます。



市川房枝生家跡広場(一宮市明地)



「私の生き方、考え方」草稿(豊田昌夫コレクション・一宮市博物館蔵)

「市川房枝」シンポジウム

参加費
無料

場 所／一宮市尾西市民会館 大ホール

日 時／2026年1月25日(日)13:30～16:00

定 員／500名(応募多数の場合抽選)

申 込／11月1日(土)9時より

※2月21日(日)17時までにお申し込みください。
1月12日(月)

●第1部「市川房枝の家族と郷里」

市川房枝の生涯と郷里との関わりを映像と地域住民の座談で振り返ります。

●第2部 特別対談「市川房枝と当時の社会」

大正デモクラシーの時代から、戦時期、戦後昭和と激動の時代を生きた市川房枝。それぞれの時代で、彼女が目指したものを最新研究から迫ります。

登壇者／進藤久美子(東洋英和女学院大学名誉教授)

村井 良太(駒澤大学法学部教授)

野村 浩子(ジャーナリスト)

林 陽子(市川房枝記念会女性と政治センター理事長)

展示説明会

参加費
無料

場 所／一宮市尾西歴史民俗資料館

日 時／2025年12月14日(日)、

2026年2月1日(日)

各日13:30～1時間程度

申 込／不要

シンポジウム
お申し込みは
こちらから



【シンポジウムのお問い合わせはこちら】

お問い合わせ：0586-23-1178(平日 9:00～17:00)

受付(運営)：株式会社アイ・シー・シー